

勉強ができるようになる方法 6

日常にあふれ、根気と考える力がつく、脳のスポーツ 数学!

【先生】

数学を学ぶ上で大切なことは、「学校の教室で学ぶ数学」と「日常生活や現実社会に溶け込んでいる数学」を関連させることです。

例えば、1年生で学ぶ「資料の活用」ではマーケティング、2年生で学ぶ「連立方程式」ではスマホ等に搭載されているGPSに関連します。

このように、数学が関係している事象は身の回りにあふれているのです。

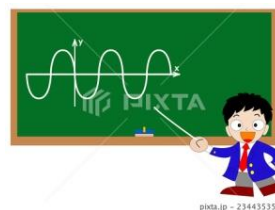
今、学んでいる内容が社会でどのように活躍するのか。それを考え、理解することができたら素晴らしいことだと思いませんか？小・中合わせて9年間という長い時間をかけて勉強しますが、それが教室だけの学びで終わるのは、もったいないですね。



【先生】

数学はルールにのっとってひたすら基礎、応用を繰り返すことで伸びる教科です。

私は脳のスポーツだと考えています。数学の魅力に気づくと楽しくて仕方なくなります。



「できないよりできる」をモットーに、できるまで計算や応用問題の説明をくりかえし、ある日、突然点数が上がりました。それまで、授業を聞いてもさっぱりわからず、不得意から得意になった瞬間の喜びと驚きは今でも忘れられません。これが魅力です。

数学とは「世界の構造を明らかにする教科」であり、「万国共通の言語」です。

【先生】

「数学って、将来使う？」誰もが思ったことがありますよね。



では、なぜ勉強するのか？

例えば、 $(-2) \times (-3) = +6$ という計算。皆さんなら、なぜこのような答えになるのか、どのように説明しますか？

数学とは、「考える力」をつけるための学問です。「ロジカルシンキング（論理的思考）」とも言われますが、根拠をもって説得力のある伝え方が身につきます。

【先生】

勉強のコツとして、数学



は答えが決まっていますが、求め方はたくさんあるので、類題や応用などの練習問題を数多くこなし、解き方を見つけるまで、「根気」が必要です。

数をこなすうちに、「解けた喜び」を感じることができれば、自信につながります。